



避難所のFM品質を考える

ファシリティマネジメントフォーラム2025

品質評価手法研究部会

部会長 野瀬かおり

本日の話題

1. 避難所をテーマにした理由
2. イタリア・台湾の避難所と日本との違い
3. スフィア基準
4. 避難所運営ガイドライン
5. 地域防災計画
6. 避難所としてのオフィスビルの検討

1. 避難所をテーマにした理由

日本全国で同じ問題が繰り返されている

- インフラギャップや耐震対策についての懸念
- 廃棄物処理と災害対策について
- 地震被災地の建物構造と対策
- 自然災害と医療体制
- 災害時の施設管理と防災対策
- 防災対策と避難所のクオリティ
- 避難所の心理配慮性と安全対策

2. イタリア・台湾の避難所と日本の違い

イタリアの避難所

- ボランティア（およそ30万人・国が金銭的支援）による避難所の設置や運営
- 家族ごとに入れるテント（屋外に設置、ベッド6台）、トイレ・シャワー
- テントやトイレなど必要な資材は、国が中心となって全国の拠点に整備し、すぐに持ち出せる状態で保管
- 訓練を受けたシェフによる食事の準備

台湾の避難所

- 支援グループと行政の連携
- 屋内（体育館）に簡易間仕切りを設置
- 被災者の支援を行う団体には寄付が集まり、団体はそのお金で資材や人材を確保

日本

- 避難所は地域の自治会と自治体運営（ともに被災者）
- 手弁当のボランティアや自衛隊による支援
- 体育館、自治会館など

参考:

NHK防災“快適な避難所”の迅速な開設を目指して(2024年10月31日放送)

FM戦略企画研究部会主催 榛沢和彦氏講演「避難所運営の在り方:能登半島地震からの教訓

国際協力NGOワールド・ビジョン・ジャパンWebサイト

3. スフィア基準

「人道憲章と人道対応に関する最低基準」

- ・1997年にNGOグループと国際赤十字・赤新月運動が開始したスフィアプロジェクトにて、策定された
- ・紛争や災害の被害者が尊厳のある生活を送ることを目的に定められた基準
- ・「人道憲章」は、国際人権法、国際人道法、難民法及び人道活動に関連した国際的な法的文書を土台として作成されており、この「人道憲章」をもとに「人道対応に関する最低基準」が定められている。
- ・スフィア基準では、「人道憲章」、「権利保護の原則」、「コア基準」（全てのスフィア基準に共有される必須のプロジェクト基準）とともに、「人間の存続のために必要不可欠な4つの要素：（1）給水、衛生、衛生促進、（2）食糧の確保と栄養、（3）シェルター、居留地、非食糧物資、（4）保健活動」の分野における最低基準が定められている。
- ・「人間の存続のために必要不可欠な4つの要素」に関する章では、人間が生命を維持するために必要最小限な**水の供給量、食糧の栄養価、居留地内のトイレの設置基準や数、また避難所の一人あたりの最小面積や保健サービスの概要**などが具体的に紹介されている。
- ・これらの基準は比較的高い水準で定められている。そうすることで、紛争や災害時などの緊急時において、支援を必要とする人々が高い水準の援助を受けられるようにすることを目的としている。
- ・同じような基準は、UNHCR緊急対応ハンドブックでも紹介されており、多くの国連機関、国際機関及びNGOは、これらの基準を参考にしながら緊急人道援助活動を行っている。
- ・スフィア基準は、紛争や災害などの緊急時において、支援を受ける人々の苦痛を軽減するために実行可能なあらゆる手段が尽くされ、人間としての尊厳をもって生活を送るために役立っている

スフィア ハンドブック

人道憲章と人道支援における
最低基準

 Sphere
2018



スフィア ハンドブック

人道憲章と人道支援における最低基準

スフィアとは？

人道憲章

権利保護の原則

人道支援の必須基準（CHS）

給水、衛生および衛生促進（WASH）

食料安全保障および栄養

避難所および避難先の居住地

保健医療



居住スペースの基本指標について (スフィア基準)

- 1 人あたり最低 3.5m^2 の居住スペース（調理スペース、入浴区域、衛生設備を除く）
 - 寒冷気候または都市部において、調理スペースと入浴および／または衛生設備が居住スペース内に設置される場合、1 人あたり、最低 $4.5 \sim 5.5\text{m}^2$
- 内部天井高の最高点が、少なくとも 2m（高温気候の場合、2.6m）

避難所スペースに関する正しい文言とは スフィア基準の数字を守るべき？

これらの施設（避難所となる小中学校や公民館など）は、災害時の緊急避難に対応するために設計されたものではありません。結果として、居住空間の狭さやプライバシーの欠如、トイレの数や清掃状況、食料や水の供給体制の不備など、さまざまな課題が浮き彫りになっています。

避難所のスペースに関する正しい文言は「人びとは安全および適切であり、尊厳をもって家庭生活や生計を立てるために必要不可欠な活動を行なうことができる居住スペースへのアクセスを有している」であり、3.5 m² は基準達成に向けた指標の1 つです。

従業員や地域住民の声も取り入れ、気づかなかった点があればそれを補完するだけでも、尊厳ある生活を支える重要な避難拠点が実現できます。

ジャフマジャーナル2024年秋号 連載：防災・減災 「スフィア基準を活用し、より快適な避難所を実現しよう」
(特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ 代表理事スフィアトレーナー 岡野谷 純)より

公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会

JFMA

Japan Facility Management Association

会員専用ページ

ファシリティマネジメント(FM)とは

協会概要

JFMA会員

認定ファシリティマネジャー資格

セミナー・報告会

調査研究・ISO(JIS)

日本ファシリティマネジメント大会

JFMA賞

書籍・報告書

機関誌 ジャフマジャーナル

当協会は、わが国におけるFMの普及定着を図り、ファシリティマネジャーの育成を推進する機関です。



JFMA 公共FMインフォ
公共FMに関する様々な情報をご案内致します

第19回 日本ファシリティマネジメント大賞
JFMA賞 2025

2024[年末年始] 初級FM財務WEBセミナー オンデマンド配信
ファシリティマネジャーのための
実務に役立つFM財務評価手法
配信期間 2024年11月12日(火)～2025年1月17日(金)

FM進化論シンポジウム2025 ライブ配信
生成AIが拓く
新しい
ファシリティマネジメント 1/14(火)

JFMA ウィークリーセミナー [ライブ配信]
新春特別セミナー
「新春恒例 オフィスの動向と展望」
2025/1/15(水)16:00～18:00

FACILITY MANAGEMENT FORUM 2025 JFMA
ファシリティマネジメントフォーラム



■ □ 年末年始について □ ■

JFMAは 2024年12月28日(土)～2025年1月5日(日)を冬期休暇として、すべての業務を

4. 「避難所運営ガイドライン」

内閣府防災担当平成28年4月

はじめに～避難者の健康を維持するために
「避難所の質の向上」を目指す

阪神・淡路大震災では、約 **31 万人**が避難所生活をした。東日本大震災では、岩手、宮城、福島 の 3 県で約 41 万人、全国合計では約 **47 万人**が避難所生活をした。阪神・淡路大震災では避難所閉鎖までに **6 カ月**を要し、東日本大震災では、避難所閉鎖まで**岩手県で 7 カ月、宮城県で 9 カ月**を要した。原発事故で福島県双葉町の住民が避難した埼玉県加須市の避難所の 閉鎖は**2年9 カ月**後だった。

ひとたび災害が起こると、避難所は「住まいを失い、地域での生活を失った被災者の拠り所」となり、また「在宅で不自由な暮らしを送る被災者の支援拠点」となる。しかし、東日本大震災では、避難所における「生活の質」には課題が多く、**水、食料、トイレ等は不十分で、暖房は限定的**であり、**狭い空間**での生活によって、多くの避難者が体調を崩す恐れと隣り合わせの生活であった。

実施すべき対応（19 の項目）業務の
チェックリスト



チェックリスト

3. 初動の具体的な事前想定

項目 番号	仕事	いつ				★主担当 ◎ 担当 ○ 支援 を記入	指示したか	確認したか	協働する団体等
		準備	初動	応急	復旧				
対策項目 1 避難所における二次災害の可能性を確認する									
1-1	余震・津波・水害・土砂災害等での倒壊可能性の確認を実施する	◎		◎		防災担当、教育委員会（施設の事務局）、施設管理者	☐	☐	避難所となる施設管理事務局
1-2	津波・水害での水没/浸水可能性の確認を実施する	◎		◎		防災担当、教育委員会（施設の事務局）、施設管理者	☐	☐	避難所となる施設管理事務局
1-3	二次災害の恐れがあるようであれば、退避・垂直避難・がけの反対側への移動を実施する	◎		◎		防災担当、教育委員会（施設の事務局）、施設管理者	☐	☐	避難所となる施設管理事務局
1-4	延焼火災の危険性・可能性の確認を実施する	◎		◎		防災担当、教育委員会（施設の事務局）、施設管理者	☐	☐	避難所となる施設管理事務局
対策項目 2 必要な書式等を作成する									
2-1	建物構造被害チェックシートを作成する	◎				営繕・建築担当	☐	☐	
2-2	内部被害チェックシートを作成する	◎				営繕・建築担当	☐	☐	
2-3	ライフライン（電気、上下水道、ガス、電話、インターネット）被害チェックシートを作成する	◎				営繕・建築担当	☐	☐	

参考となる情報

避難所モデルプラン（一般社団法人 東京都建築士事務所協会）

建築士の視点から、学校を避難所としたモデルプランを作成。世帯に応じた住居スペースのモデルや必要なチェック項目について細かく網羅的に作られている

避難所の衛生対策（一般財団法人 日本環境衛生センター）

土足の禁止（外部やトイレで付着した汚物や吐瀉物が、避難スペースに持ち込まれないように）

清潔なトイレの維持（発災後すぐに設置、50人に1つ、清掃・消毒当番を決める、1時間に1回の頻度で清掃）

5. 地域防災計画

川崎市中原区

- 企業連携
- 避難所運営会議への女性委員の積極的な参画
- 10階建て以上の高層マンションでは、「防災整備スペース」と「防災対応トイレの設置」を推進・誘導

横浜市

- 自治会と行政の連携
- トイレの管理は地域防災拠点運営委員会が行う
- 民間との協力（麒麟ビール横浜工場による飲料水の供給）

浦安市

- 災害コールセンターを沖縄県に設置

当部会で検討するには？

部会員の中に避難経験者がいないため、地域の避難所を検討するのは難しいのではないか

一般の避難所を考える際、人口密度や住民同士のつながり方など、地域の特徴によって違いが出てくる

企業・組織のファシリティマネジャーとして、帰宅困難になった社員の避難所としてのオフィスビルを検討してはどうか

6. 避難所としてのオフィスビルの検討

帰宅困難者が3～5日、オフィスで過ごすことを想定し、避難所となるオフィスに対し、企業のファシリティマネジャーが準備しておくことを考える

- ① 自社ビル（自社のみが入居していて、ファシリティマネジャーが全館を把握し差配できる）
- ② 賃貸ビル（賃貸ビルに入居していて、他の入居者との連携・調整が必要になる）
- ③ 複合ビル（事務所のみならず店舗があり、一般客の出入りがある）

あるオフィスビルでの避難訓練

都内にある自社ビル 7階建 延べ床面積 約26000m²

訓練参加者 リスクマネジメント、総務、役員など12名

訓練内容 6月の中頃、17時30分開始 トイレ設置・備蓄品配布などを行い、オフィスで一泊した

所感 空調をとめたが2時間で我慢ができなくなり稼働させた（窓を開けると虫が入ってくる）

非常用発電機はあるが、どう使うかが問題

会議室に薄いマットを敷いたが、硬くて寝にくい → 出勤している人数が宿泊するのは難しそう

簡易トイレの使い方の説明は必要

実際にやってみなければわからない。（訓練は必要）

オフィスの防災：内閣府

1. パソコンの転倒防止とデータのバックアップ

2. 避難経路の確保

3. オフィス家具の固定

4. 危険物の安全確認と消火器の準備

消火栓やスプリンクラーの破損に備え、初期消火のための消火器の設置と訓練

5. 非常用物品や救出用資器材等の備蓄

飲料水3L/人・日、食料3日分、毛布等、
医療品・担架、工具等

6. 帰宅困難者対策

待機後の帰宅に備え、簡易食糧・運動靴の準備、帰宅経路の確認

7. 任務分担の決定

8. 情報収集・伝達方法の確認

伝達機器類は日常業務でも使用して使い慣れておく

9. 安否確認方法の検討

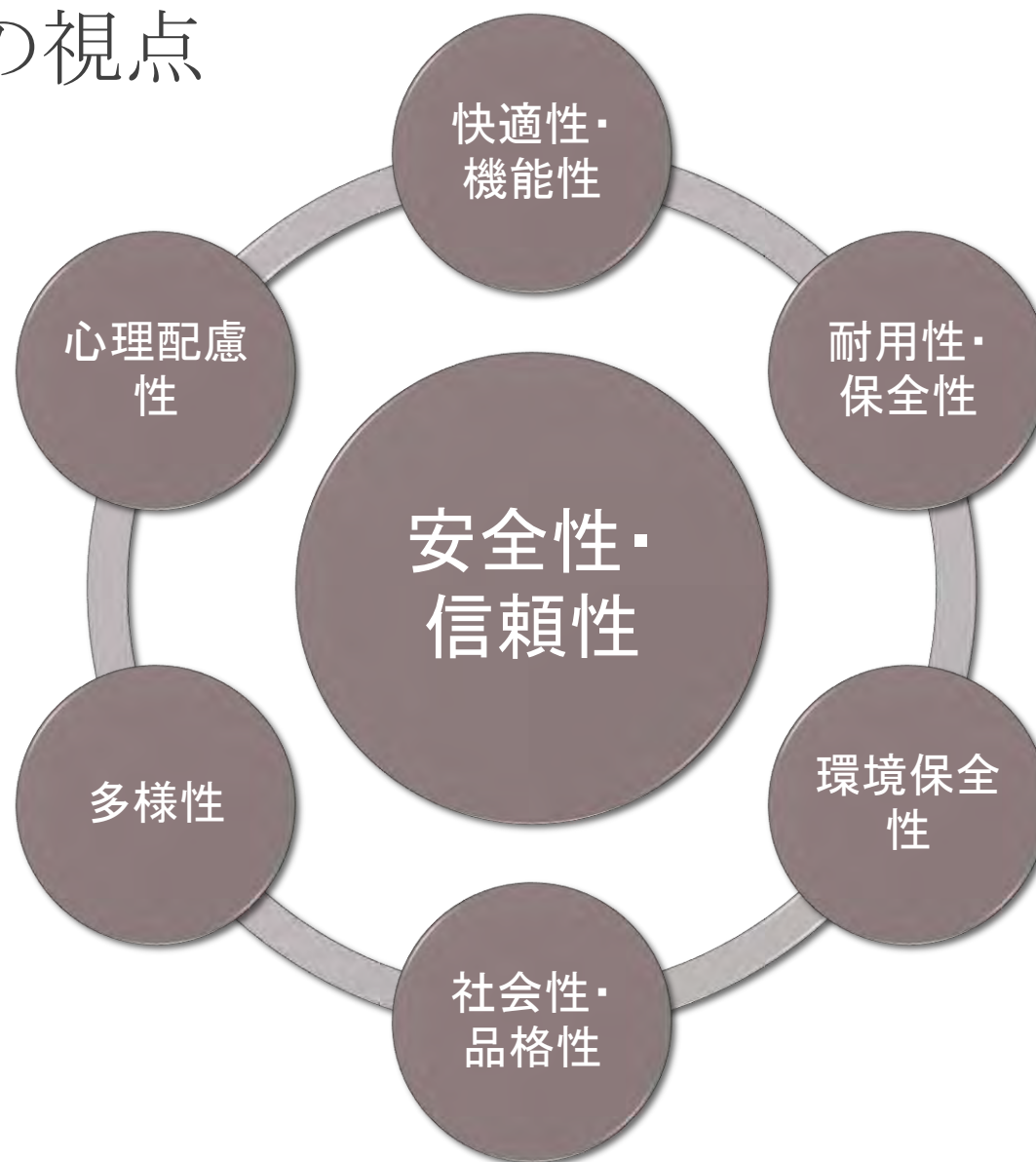
10. 防災教育・防災訓練の実施

定期的に実施、共同ビルの場合は管理会社とテナントで防災計画等についての情報交換や役割分担をしておく

11. 周辺企業や地域住民との連携

業種・地域・オフィスや建物の規模、テナントや自社ビルの違いなど、状況に応じて必要な対策を講じる

品質評価の7つの視点



ファシリティの品質について 一緒に考えませんか？

毎月第二土曜日の午後 14時～17時

17時から18時までは、有志で雑談

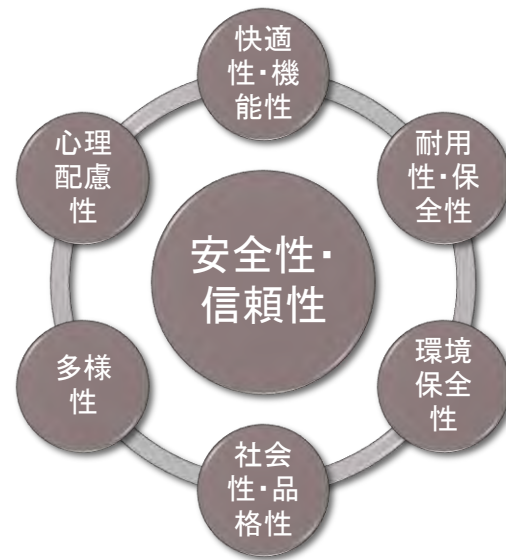
ZOOMを利用（仙台・東京・埼玉・神奈川・千葉・大阪・名古屋）

例年9月頃、1泊で合宿（大阪・仙台・名古屋・福井などで見学会
および学習会を開催）。コロナ禍だった2020年、2021年はZOOM
で各々の考えを発表する会に

部会員がそれぞれの立場で考え、発言し、学び合う部会

当部会紹介のページ（YouTube）

参加ご希望の方は、JFMA事務局にご連絡ください



品質評価手法研究部会
